

居住理由判定委員会の理念

～寮生はみんな仲間～

そもそも居理判とは？？

2016年頃から当局の入退寮選考権に対する攻撃が激化
防衛策が2通り提示された。

-いよいよとなったら…。→過激派の出番である。

そもそも居理判とは？？

2016年頃から当局の入退寮選考権に対する攻撃が激化
防衛策が2通り提示された。

- いよいよとなったら…。→過激派の出番である。
- しかし、居住者を自分たちで決めていることを
明文化し、まともな規約・先例・居住理由を出すことで
「**攻撃をかわすことが出来る**」
- 現在・過去・未来の寮生を守る**盾**として設立された。

そもそも居理判とは？？

2016年頃から当局の入退寮選考権に対する攻撃が激化
防衛策が2通り提示された。

- いよいよとなったら…。→過激派の出番である。
- しかし、居住者を自分たちで決めていることを
明文化し、まともな規約・先例・居住理由を出すことで
「**攻撃をかわすことが出来る**」
- 現在・過去・未来の寮生を守る**盾**として設立された。
「**絶対に住んでもいい理由**」を**明文化**
その他の理由については先例を構築

居理判の理念とは？？

理念その1:人を追い出さない

- 居住理由は人それぞれ。
- 理由によって選別されてはならない。
- 「籍」の理論から「場」の理論へ。

理念その2:弱い立場の人の盾となる

- 「学籍」という防御カードを切れない人を守る。
- 当局等からの攻撃を防ぐ「居住理由」という盾。
- 学籍を喪失しても住処が奪われないという先例を作り絶対の「心理的安全性」を担保する。

-現在・過去・未来の寮生を守る盾として設立された。

「絶対に住んでもいい理由」を明文化
その他の理由については先例を構築

-現在・過去・未来の寮生を守る盾として設立された。

-現在・過去・未来の寮生を守る盾として設立された。

「絶対に住んでもいい理由」を明文化
その他の理由については先例を構築

我々(居理判)が守るのは寮生の「居住権」

学籍は居住権を保証する 1 要素にすぎない

-現在・過去・未来の...ある盾として設立された。

「絶対...用文化
その他...構築

我々(居理判)
学籍は居住権

居住権」

にすぎない



居理判は盾として働いてきた

熊野寮自治会は、寮自治会が保有する入退寮選考権の行使の一環として、その裁量と空間的制約の範囲内において、必ずしも学籍を保有していない人についても居住を認めてきた経緯があります。

これまでも**幼児**と同居しつつ学びを継続する人、**精神疾患や身体の不調等**で一時的に**学籍喪失に追い込まれた人**、**院試浪人や就職浪人、博士課程満期退学者**、**京都大学による強権的な放学処分の対象者**、**内戦下の祖国へ帰れなくなった外国人研究者**など、やむを得ない社会的・経済的事情を抱えて熊野寮での居住を要する無学籍者の継続居住を一部認めてきました。これは入退寮選考権を行使して社会的責任を果たすための寮自治会の判断として、社会的な意義がある…

居理判の理念と自治空間

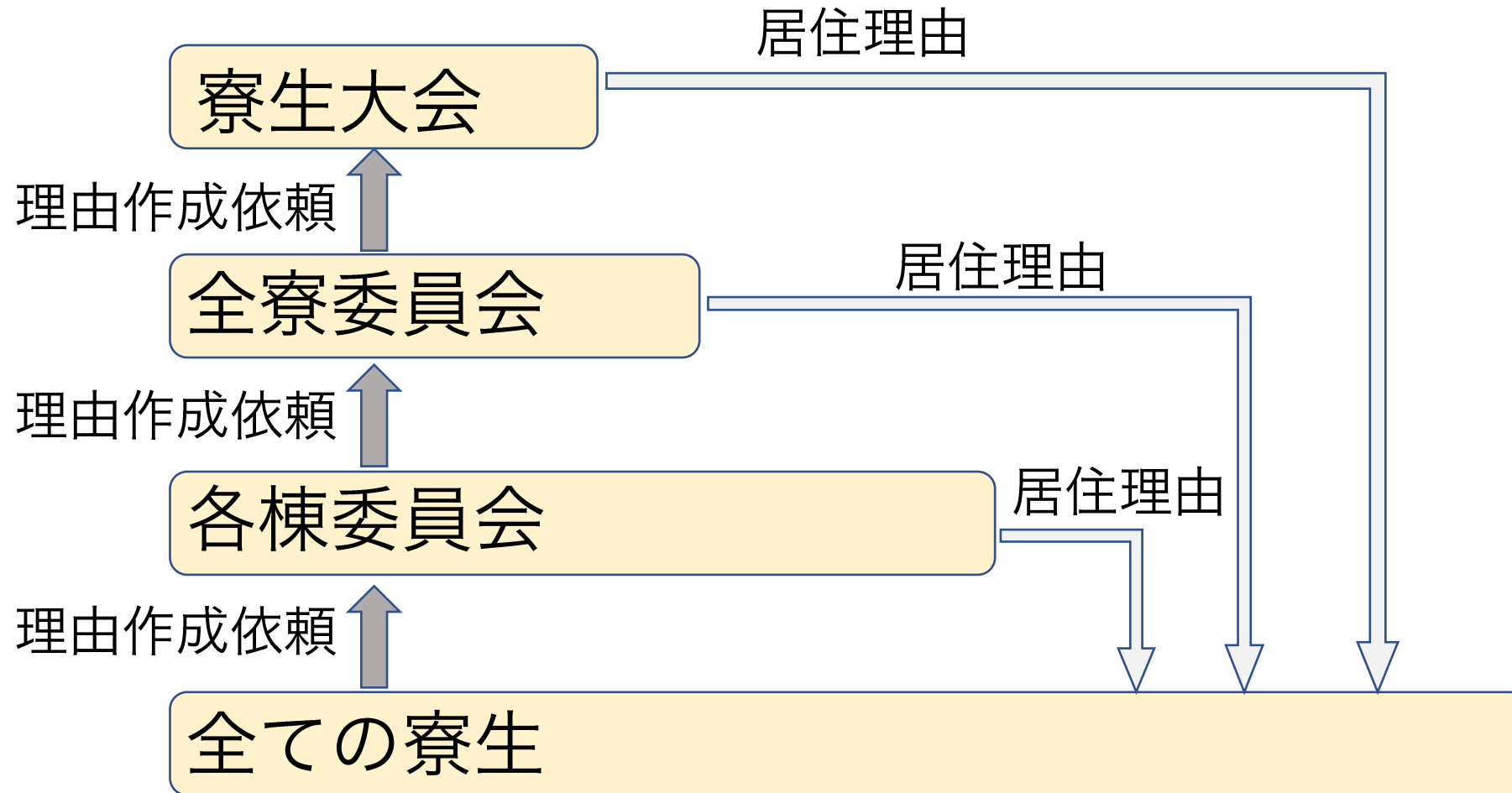
居理判の存在価値は自治空間の基本と結びついている

制度による機械的な処理により排除されることを拒否する

寮生には嫌な(現在・未来の)寮生を排除する権利はない。
原則的には「当事者間解決」と「徹底討論の原則」の中で
人間関係を作り解決していく。その自由度が自治空間の魅力

居理判の運用

みんなで頑張って居住理由という盾をつくる



最後に

～寮生はみんな仲間～

居住理由は機械的な線引きや特性評価のみによって決まってはならない。
もし線引きや資質評価のみによってきまるのであれば、それは当局である。
熊野寮自治会を金と権力のない当局に貶めてはならない。

居理判は過去・未来・現在の寮生の生活を守る盾であり
リソース拡張論による連帯を促す先進的な仕組みである。

居理判の理念によるリソース論

リソース限界論は悪

リソース限界論：寮に住んでいい人を
「学籍」「貢献」「使用方」「年次」
等の特性によって選別する考え方



居理判の理念によるリソース論

リソース限界論は悪

リソース限界論：寮に住んでいい人を
「学籍」「貢献」「使用方」「年齢」
等の特性によって選別する考え方



内ゲバ

内ゲバ=内部崩壊による組織の壊滅

居理判の理念によるリソース論

リソース限界論は悪、その権利は無いし思考が制限される

- 許認可を得るための自己開示圧力
(僕はうつ病で一す！！と全寮に開示しないと
すんじゃだめなの....???)
- 嫌な奴を追い出す理由に使われる
：学籍はく奪に追い込む(当局や他学生が)
いじめ
- 自治空間が縮小する
(留年生・留学生・女子寮生はでていけ!!)

居理判の理念によるリソース論

リソース拡張論の立場に立つ！！

-自治空間では構成員自らがリソースになれる。

(つまり、自治を頑張るということ)

-熊野寮祭がいい例

-他人を追いだす暇があれば、
自らがリソースとなり連帯によって寮を発展させよう。

-多数の先例と運用例を作り

寮の恩恵を受けられる人を拡張していく先進的な仕組み